

情勢は高教組のつなぐべきところ

第3回代表者会で確認

長崎高教組は7月9日、高教組会館で第3回代表者会(支部長、支部書記長が参加)を開催し、大会方針の具体化を図るとともに、そのとりくみに職場の課題と結合させながら力を注ぐことを確認しました。

つなぐを感した涙ではなかったか

会議の冒頭、平井委員が討議をリードし、勤務番が求められている。意識が明らかになり、問題意識的に組合のとりくみを題の改善が必要とする認識を深めてほしい」として、識で一致した。

以下のような3つの点に。私もこれに参加し、改善を求めるという点から触れ、挨拶を行いました。第1に「6月の82回質問(①夏季休暇は何日大会で『あたたかい、顔か②伝達講習会に出席するの見える組合運動』として見解は③出勤調査の提出を求めるところがある見受けられた。」として、次の二つの事柄を指摘しました。「一つは、老岐する県教委の回答がベツ埋蔵物文化センターの労働実態が明らかにされたこと。二つに、大震災ボランティアアカンパにとりくみ、この募金を渡すとき、ある代議員が涙を流していたことで、つなぐを感した上での涙と

第2に「県教委が新規再任用者向けの研修をセ委と折衝を行った。」

第3に「県教委は節電対策を各校に求めた。学校によっては勤務時間終了と同時に冷房を切るというところが出ています。節電は大事だが、仕事や健康とリンクしてやるべきという観点で、県教委と折衝を行った。」

「650人対話」をやり遂げよう

組織強化と拡大に関わって、ある代表者が次のように、決意を込めて語りました。

「速報などの配布物はほとんどなされています。その一方で、『組合にどうですか』という声掛り、若手教職員に集まっ

対県要求の生の声 1千人以上集めよう

私たちは大会で、「すべての分会で要求アンケートや職場要求書づくりを重視し、職場からの要求活動を前進させる」として、「確定交渉に向けてのアンケート活動と職場要求書づくりにとりくむ」としました。

これを受けて、職場に具体的なとりくみを要請したところですが、代表者会ではこのとりくみの意義を再確認するとともに、以下のような点を重視し、アンケート集約の完遂をめざすこととしました。

①組合員から確実に集約するなど、1千人以上の声を集める②集約ゼロの分会をなくす③提出時のチェックなど工夫をする④未組合員にも積極的に協力を呼びかける⑤困難な分会には本部もオルグを行う⑥8月9日を目標にとりくむ

⑦県に対する要求と職場での要求、そしてま

てもらい組合のことを語っていきたい。さらに、所属する分会をこえて他の分会にも出かけて行くので、計画してほしいと支部会議で提起したい。」この発言は7月、8月にとりくむ拡大などの行動に関連したもので、支部・分会の総意で、職場の問題をキャッチした「650人対話」をやり遂げることが求められています。

やる気を摘む言動

50代の、ある組合員が元気がない。聞くと「管理職の言動に対する改善要求を基本にしたアンケートです。全職場で成功させましょう。」

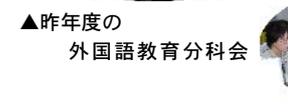
「管理職の言動に対する改善要求を基本にしたアンケートです。全職場で成功させましょう。」

「管理職の言動に対する改善要求を基本にしたアンケートです。全職場で成功させましょう。」

「管理職の言動に対する改善要求を基本にしたアンケートです。全職場で成功させましょう。」



▼昨年度の家庭科教育分科会



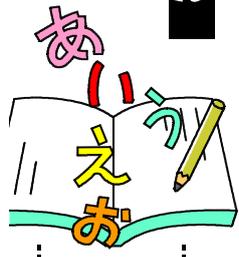
▲昨年度の外国語教育分科会



●イマドキの生徒を惹きつける授業とは
教科別 教育研究集会 in川棚
日時：8月10日(水) 13:00～11日(木) 12:30
場所：国民宿舎『くじゃく荘』(川棚町)
内容：教科別分科会、講演(これからの高校教育を考える) 模擬授業(小学校の算数)
○本音で話せる、学び合い、交流の場です。未組合員も誘って参加してください。

■夢実現のお手伝い
教員採用二次試験対策講座
期日：8月20日(土)、21日(日)、28日(日)
場所：高教組会館
内容：模擬面接、小論文指導
○職場に採用試験を受験した方がいましたら、案内してください。詳しくは分会長、本部にお尋ねください。

思いどおりにいかない



しかし、教育に身を置いた私たちは、やっぱり教育活動のことも考え、心配になる。前述の同僚は生徒のやる気や熱意を摘んでいないか、と。そうやって、その氏は組合を脱退した。人や組織を支え、みんなでやろうという視点が人物を是非、見極めて欲しいということである。

「しかし、教育に身を置いた私たちは、やっぱり教育活動のことも考え、心配になる。前述の同僚は生徒のやる気や熱意を摘んでいないか、と。そうやって、その氏は組合を脱退した。人や組織を支え、みんなでやろうという視点が人物を是非、見極めて欲しいということである。」

「しかし、教育に身を置いた私たちは、やっぱり教育活動のことも考え、心配になる。前述の同僚は生徒のやる気や熱意を摘んでいないか、と。そうやって、その氏は組合を脱退した。人や組織を支え、みんなでやろうという視点が人物を是非、見極めて欲しいということである。」

「しかし、教育に身を置いた私たちは、やっぱり教育活動のことも考え、心配になる。前述の同僚は生徒のやる気や熱意を摘んでいないか、と。そうやって、その氏は組合を脱退した。人や組織を支え、みんなでやろうという視点が人物を是非、見極めて欲しいということである。」